



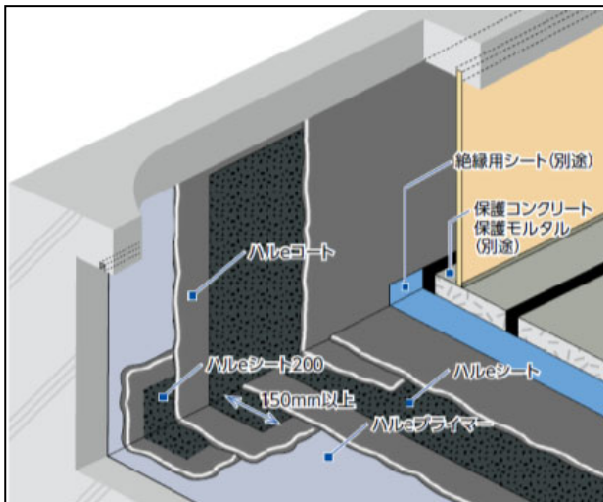
[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-36/2029年5月16日
[技術の名称]	環境配慮型改質アスファルト防水常温工法「ハルeコート複合防水」
[依頼者(審査証明取得者)]	株式会社 イーテック

**[技術概要]**

ポリマー改質アスファルトエマルジョンに硬化剤を配合した JIS A 6021 に適合する塗膜防水材と、改質アスファルトルーフィングシート(合成繊維補強布入り)を積層し、多層構造からなる耐久性を有した水性完全冷工法の防水工法である。

そこで本工法は、水系ポリマーで改質した改質アスファルトエマルジョンを使用して、常温で施工可能な工法とし、品質向上による工程数の削減・軽量化を図り、更に作業者及び周辺環境への影響を軽減させることを目的として開発を行った。

**屋根保護防水密着工法 E-30C**



工程	材料	使用量
		(kg/m <sup>2</sup> )
1	ハルeプライマー	0.2
2	ハルeコート/ ハルeシート流し張り	1.5
3	ハルeコート	1.5
4	絶縁シート	
5	保護コンクリート	

**[開発目標及び審査証明結果]**

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- (1) 水系ポリマーにより改質した JIS A 6021 に適合する改質アスファルトエマルジョンの塗膜防水材と改質アスファルトルーフィングシートを常温で積層させることにより、下記の特徴を有する防水層が開発されたものと判断される。
  - ①アスファルト防水及びトーチ工法と同等の防水性能を有する。
  - ②アスファルト防水及びトーチ工法と比べ、防水層の重量が軽減されている。
  - ③アスファルト防水及びトーチ工法と比べ、作業効率が向上している。
- (2) 施工時に火気や揮発性溶剤を使用しないことにより、作業環境の改善が図られたものと判断される。
  - ①アスファルト防水及びトーチ工法と比べ、施工時における炭酸ガス・蒸発溶剤の発生量が削減されている。
  - ②アスファルト防水と比べ、作業者への作業環境の改善及び近隣環境保全が可能である。

**[開発の趣旨]**

在来のアスファルト防水やトーチ工法はルーフィングを積層し、改質アスファルトシートを貼り付けることで防水層を形成する防水工法である。アスファルト防水及びトーチ工法は、以下のような問題がある。

- (1) 火災・火傷・煙発生・臭気等の安全・衛生・環境上の問題
- (2) ルーフィング積層数に応じた防水層の重量増の問題
- (3) アスファルト防水の積層数の多さ、及び下地の厳密な含水率管理が必要で天候による影響を受け易い作業効率上の問題

**[本技術の問い合わせ先]**

**株式会社イーテック**

建築資材事業部 東日本防水材料グループ

TEL : 03-6218-3842

FAX : 03-6218-3843